

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年 2月 24日

事業所名: 発達支援ルームティンカー・ベル

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6	1	0	基本的には1グループなので、十分な確保はできているが、準備等が重なる時がある時は話し合いをしている。	58	0	0	0		
	2 職員の適切な配置	7	0	0	加配をして手厚い療育を心がけている。更に専門職の加配を検討している。	56	1	0	1	成長につれ先生は減りましたが、目が行き届いていると思います。	専門職の加配を検討している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	0	0	構造化したりスケジュール等を示している。グループ毎に内容を分けている。	56	2	0	0		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7	0	0		57	1	0	0	子ども・両親にとっても環境整備されていて、心地よいです。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	6	0	0	活動後は次の課題等を話し合っている。	/	/	/	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	4	2	第三者委員会は今後も考えていない。	/	/	/	/		事業所が小規模なので、第三者委員会の設置は今後も考えていない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6	1	0	内部研修は月1回している。外部の研修は療育時間との兼ね合いがあり、希望通りには参加できない。もっと外部研修の情報が欲しい。	/	/	/	/		事業所として必要な外部研修の紹介はしているが、個人的に参加する研修についても今後紹介する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7	0	0	日々の活動で十分聞き取れていないこともあるが、モニタリングでは児童発管との話の中でニーズも出ており、計画に取り入れている。	55	1	1	0		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	0	0		56	2	0	0		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7	0	0		/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	7	0	0		54	3	0	0			
	5	7	0	0	毎月会議の中で、話し合っている。							
	6	7	0	0	季節的なものは毎年同じ物になるが、制作物や活動の内容は変化させている。	50	4	0	2	毎回違うプログラムになっており、子どもにとっても楽しみがある。毎週違ったことをしてくれていて子どもも楽しみながら活動できている。	活動内容が画一的にならないよう今後も企画する。	
	7	7	0	0	長期休暇に関しては、学校の課題等で自由研究、書初め等取り入れている。							
	8	7	0	0								
	9	7	0	0	記録をしながら個々の確認や支援の方法を検討している。						時間の使い方を工夫し、勤務時間内で終了できるようにする。	
	10	7	0	0								
	11	7	0	0								
	関係機関との連携	1	7	0	0							
		2				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	6	1	0	必要なケース、保護者の希望等、各々に合わせて行っている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	1	0	センターの入園に関しては書面等作成。転居等必要に応じて保護者の許可を取り、提供している。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	3	1	2	連携はしているが、研修は参加していない。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	0	6		25	10	7	15	子育て支援センターではいろいろな子供たちの交流がある。コロナのためあまり交流はない。	事業の特性上、難しいが検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	0	6							
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	0	0		57	1	0	0		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7	0	0		58	0	0	0		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	7	0	0	インリアル・アプローチの実施について、支援している。	41	12	1	4	時々母親に声を掛けてくれて助かりますが親向けの勉強会をもう少し出来たらいいなと思います。育児に自信がなくいろいろと相談したいがなかなか時間がない。	去年度は各グループ別に実施したが、かなりの時間を費やした。実施方法を検討する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7	0	0	集団活動になると保護者と話す時間が少ないこともある。	53	5	0	0	療育後に少しだけではあるけど子どものことを相談したりできるので良いと思います。話す機会を設けてくれており、とても話しやすい。ゆっくり相談できる時間がない。	事業所内相談を使ってくれるといいが、希望がない。説明をして、積極的に利用してもらうようにする。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7	0	0	必要に応じて出来るだけ話を聞くよう意識して声を掛けているが、その時に難しい場合は管理者につなぐ。	54	4	0	0	評価の時には園の先生とも話し合える場を設けており、情報共有が出来ています。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	1	5	会はないが、グループの中で保護者同士が話せるよう部屋の確保はしている。その中で保護者同士が話している。	13	21	9	14	他の保護者の方とっと意見交換できたらいいと思う。コロナ禍で難しいが、横のつながりがもう少しできるといいなと思う。	保護者会について検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7	0	0		36	3	0	18	苦情を言ったことがないので分かりません。	今年度2件あり、1件は説明をして理解してもらったが、1件は話し合いにも至らず信頼が築けず、利用終了となった。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7	0	0		50	6	0	1	先生を捕まえにくい印象。いつ伝えたらいいかわからない。	事業所内相談を勧める。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	2	1	3		18	12	5	22		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7	0	0		52	2	0	3	他の保護者の前で、子どものことを言われた時は少し嫌でした。	子どもさんのことを話す場合は、相談室を使用するよう注意します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	1			43	6	0	9	マニュアルや災害時の対応が分かり易く整備されている。	保護者への説明を徹底したいと思います。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7	0	0	事業の性質上、全員には実施できていない。	29	7	3	18		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	6	0	0							
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	6	0	0							
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	0	0	アレルギーに関する調査を保護者に行っている。必要があれば医師とも連携をとっている。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7	0	0	ヒヤリハットは出来るだけ出すようにしている。療育の中での子どもの様子や場の状況を話し合い、対応や設定を検討し、事故につながらないように、職員の意識づけをしている。						